

..... 活動報告

〈BIM小委員会〉

～令和7年度BIM小委員会活動報告～

令和7年度に行った講習会及び委員会活動のご報告です。

1. BIM小委員会内での発表会

「REVITによるBIMモデリングルールについて」

昨年度になりますが、1月末に株式会社池下BIM設備の田中様より、REVITによる用語の解説、モデル作成方法、ルール設定について、自社で行っている内容を委員会内で発表していただきました。

自社のルール化も当然必要ですが、設備は元請側のルール設定に基づき作業を行う必要があり、多数のルールを理解するのは大変であると感じました。また、他社とのデータ共有が必然となるため、BIMだけでなくシステムを含めて理解できる専任者の必要性を感じました。

設備設計事務所では専任を設けることが難しいことや、Autodeskで使用されている専門用語が特殊であるため、まだまだREVITに取り組むのはハードルが高いと感じた方が多かったように思います。

2. 今年度の講演会予定について

「確認申請におけるBIM活用の現状の進捗及びこれからの動向」というテーマで開催を予定しております。現在、日程を調整中ですので、決定次第、案内を配布致します。

建築確認申請において2026年よりBIM図面審査が段階的に始まり、2029年にはBIMデータ審査(BIMデータを直接審査)も開始され、最終的には全国で建築確認申請を完全電子化し、BIMによって作成した図面データの提出を義務化することが目標とされています。

現在はPDF図面の提出で対応可能ですが、審査側のチェック方法やBIMソフトを使った確認申請図の審査方法が確立された際には、設備設計事務所もBIMデータの提出を求められる機会が増えることは間違いありません。そのためにも、定期的に現状の進捗及び今後の動向を聴講し、いざというとき

に対応できないことのないように情報収集できればと思います。

3. 今年度のテーマについて

委員会内でヒアリングを行うと、設計の段階から全てBIMで検討・作図まで行う案件に関わるのではないという意見がほとんどでした。件数としては少ないですが、2Dで作成した実施図を元にBIMモデルを起こして納品という案件を少し聞く程度です。

また、建築からBIMでの設計を求められた際に、建築と設備の進め方の違いや、お互いに求めている資料や受領タイミングが異なるため摩擦が起こるなど、あまり便利には使えていないのが現状です。ソフトも高額なことから、メリットがなければ設備設計事務所が積極的にBIMに取り組むのは難しいと思われま

す。そうとはいえ、建設業界がBIM化推進をしている以上、設備設計だけ前進していないのは問題があります。BIM化することでのメリット、効率化・省力化を模索、検討することで、少しでも多くの事務所が取組もうと思えるよう、話し合いを進めています。

3.1 積算への活用

BIMモデルからは、機器・器具・配管・ダクトの数量の拾い作成をすることが可能です。施工区分、ゾーニングの設定を事前に行う必要はありますが、範囲指定でも1フロアでもモデル全体でもボタン1つで数量表が作成されます。そのまま提出しても問題ない役所もあるようですので、かなりの省力化が図れます。

3.2 計算書への活用

BIMモデルよりダクト抵抗計算、配管抵抗計算、排煙計算、照度計算などを作成することが可能です。また、建築BIMモデルからソフトを利用して室情報(室名・面積・天井高・仕上等)を読み込み負荷計算や換気計算に活用し、空調メーカーのソフトで機

器選定を行うことも可能です。このデータを利用してBIMモデルにプロットを自動で行うことも可能です。

3.3 各設備ソフトの機能を知る、機能を追加する

自動作図機能やExcelデータとのリンク、干渉チェックなど、建築設備専用のBIMソフトであれば、設備設計に便利な機能を備えています。また、毎年新しい機能を追加しているほか、ユーザーからの要望も加えていたりします。但し、なかなか全ての機能を理解し、使い方までをマスターするのは至難の業です。

幸い、この委員会には建築設備専用のBIMソフトを提供している3社に参加いただいています。機能紹介や効率化に結び付くような使い方、設備事務

所が必要としている機能提案などを委員会内で意見を出し合い、蓄積したものを報告できればと考えております。

意匠優先のソフトの採用を進められてしまうと、設備側は非常に労力を要することになります。建築設備専用のBIMソフトの使用やルール作成を働きかけることも必要です。

今後もBIM小員会ではBIMに関する情報を発信していく予定です。

皆様の意見もお待ちしておりますので今後ともよろしくお願い致します。

(株T・S・G 若林 雅子)

..... 活動報告

〈業務環境改善委員会／保険小委員会〉

- ・ 随時保険会社より、発生した事故案件の状況と主な原因について紹介いただき、啓蒙活動を進めていきます。

〈総務委員会〉

- ・ 2026年1月30日開催予定のMET20周年祝賀記念事業

〈事業委員会〉

- ・ 2025年度新技術セミナー開催へ向け、会場やテーマの検討。
- ・ ボウリング大会開催について賛助会運営委員会と会場等の調整をする。
- ・ 8月委員会開催予定

〈賛助会運営委員会〉

第1回委員会

2025年4月23日(水)16:00～17:00

- ・ 2025年度賛助会運営委員役割分担確認
- ・ 第1回運営会議の概要報告
- ・ 第14回賛助会総会進行打合せ
- ・ ボウリング大会について
- ・ 常設委員交流会について
- ・ MET統合20周年記念事業について

第2回委員会

2025年5月21日(水)16:00～17:00

- ・ 第2回運営会議の概要報告
- ・ 第14回賛助会総会進行最終確認
- ・ MET統合20周年記念事業について
- ・ ボウリング大会について